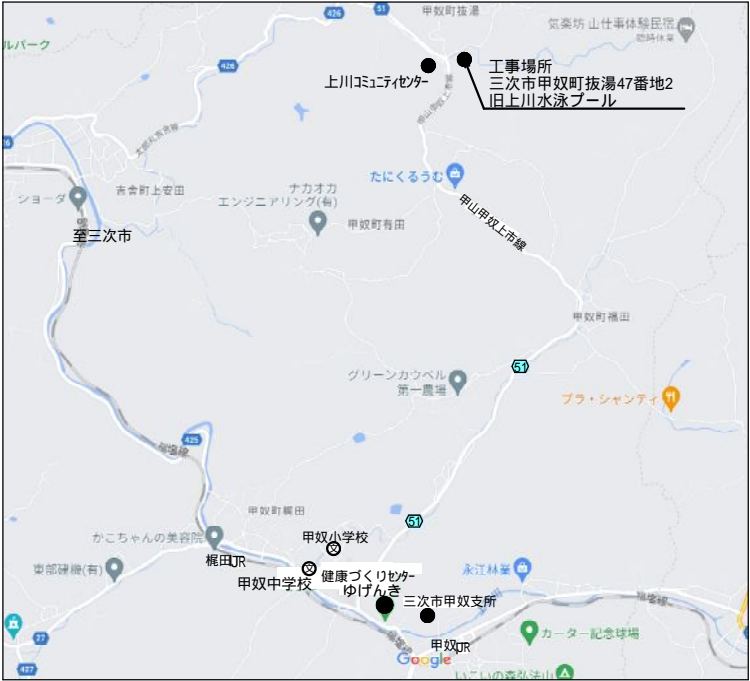


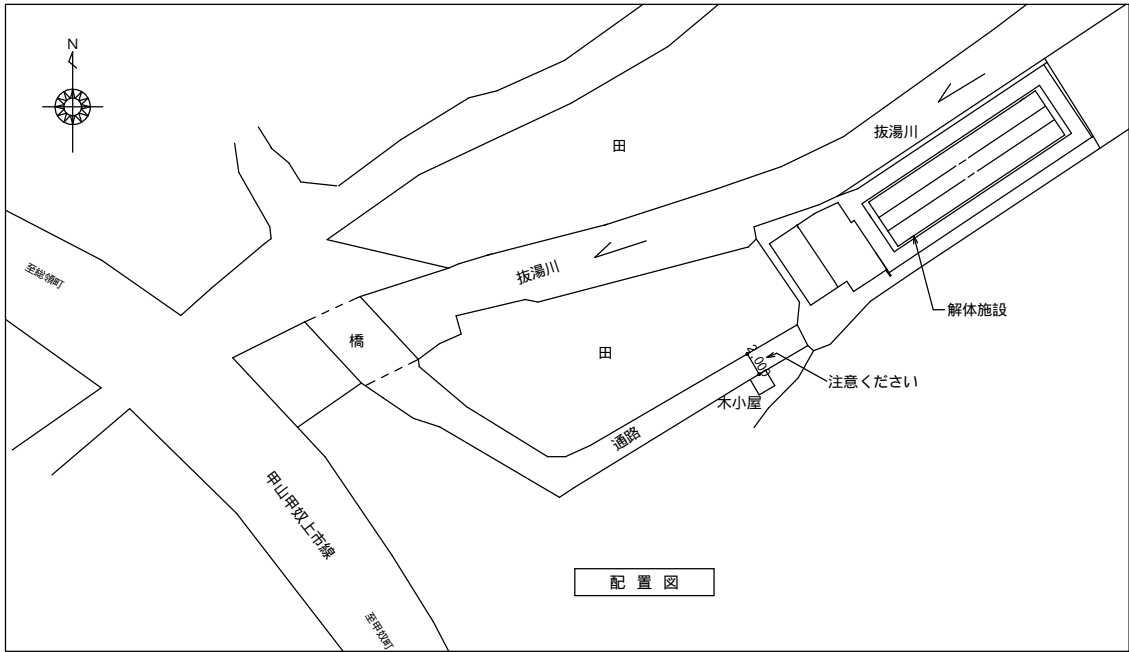
旧上川水泳プール解体工事 設計図

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 (19(1)第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名 表 紙		工事名 旧上川水泳プール解体工事 設計図						
				縮尺	—	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				
												No. A - 0

工事概要		
工事名称	旧 上 川 水 泳 プ ール 解 体 工 事	
	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
発注者	氏 名	三次市長 福岡 誠志
	地名地番	三次市甲奴町抜湯47番地2
建 物	建物用途	プール
	工事の種別	施設解体撤去工事及び敷地整備工事
	構造	コンクリートブロック造（更衣室，便所棟）軽量鉄骨造（休憩室棟） 鉄筋コンクリート造（プール）
	面 積	プール本体 25.0m×6.0m+25.0×0.3×2=165㎡ プールサイド 116.78㎡ 便所棟 10.17㎡ 更衣室棟21.12㎡ 休憩棟（4.88㎡，8.88㎡） 付属施設 21.11㎡



付 近 見 取 図



配 置 図

- 工事概要
- 1，本工事は、旧上川水泳プールの解体撤去工事及びそれに伴う工事です。
 - 2，搬出入用道路が狭くその中の解体撤去工事のため、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図並びに詳細工程表を作成してください。
また、事前に関係者（甲奴支所・都市建築課・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、工事手順、安全対策、騒音対策等の内容を記載した総合仮設計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。
 - 3，備品（現在の残っている物）の撤去等は全て請負業者にて行ってください。
 - 4，不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

【 特 記 事 項 】

- 1， 本建物にはアスベスト含有部分がありますので、解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に実施してください。
下記の部分の事前調査を行っております。
外壁吹付材 内部天井 内部展示棚板
- 2， 現場代理人及び主任技術者並びに下請協力業者は解体撤去工事の実績のある者とし実績書を提出し係員の承諾を得るものとします。
- 3， 必要に応じて交通誘導員を配置してください。
- 4， 図面が存在していないため想定して作図しております。ご注意ください。

【 注 意 事 項 】

- 別紙提示の内訳明細書の取扱いについて
現場説明書、設計図及び内訳明細書等に基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。
- 解体撤去工事完了後にマニフェスト等の実数量により清算とします。
- 尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指 示 事 項 】

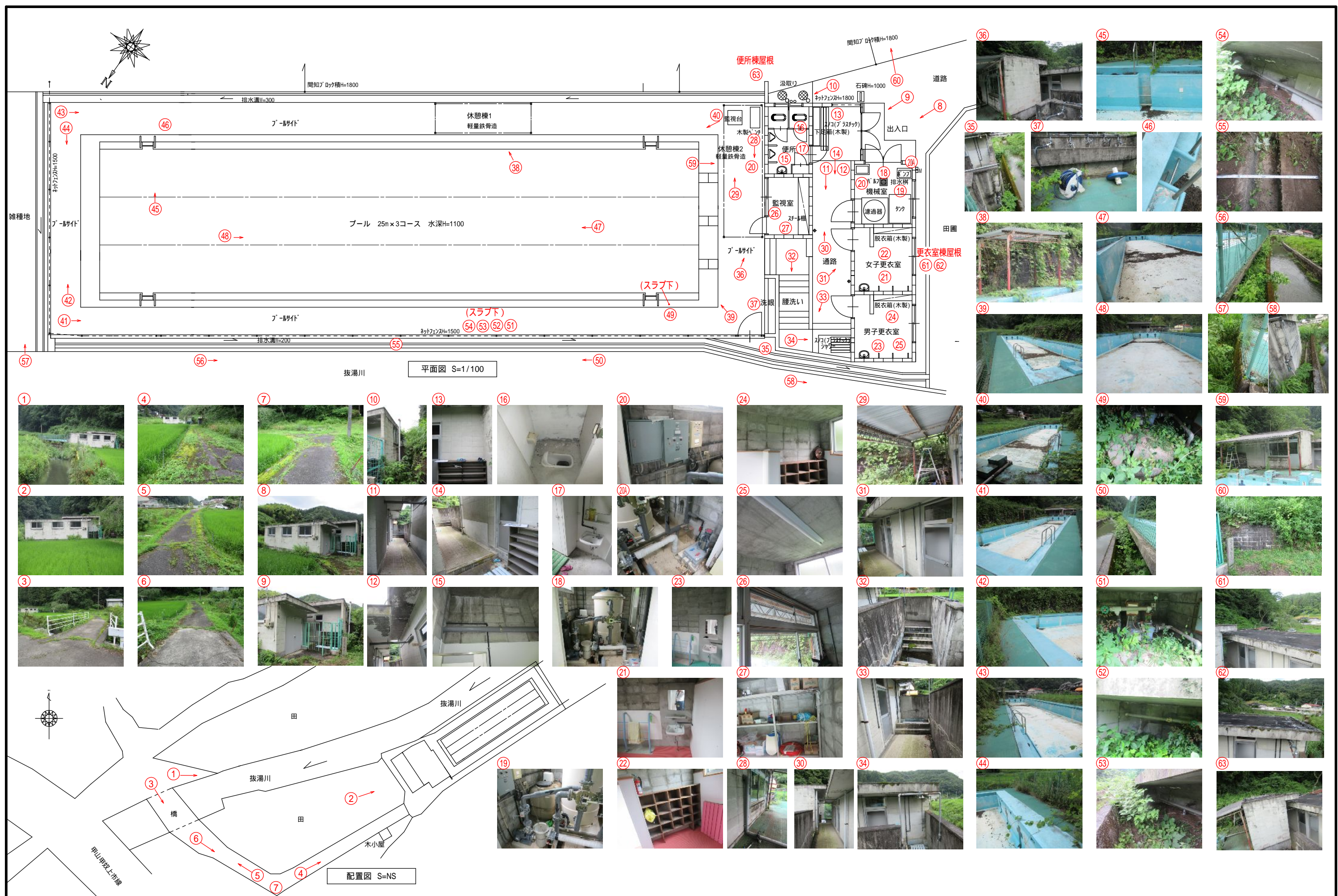
- 1.工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者に行うこと。
- 2.工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに諸請負者で保証し解決を図ること。
- 3.タバコの吸殻入れ、消火器等を設置して火災等発生しないよう最善の注意し解決を図ること。
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結すること。
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。
- 4.振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。
もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。
- 5.作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。
- 6.着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。
- 7.現地に水道施設はありますが、長期間使用していないため使用できないものとする。
- 8.図面を製本し提出すること。
・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）
・ A 3 版 部（現場用）
○ A 4 版 1 部（現場用）
- 9.不明な点については、係員と協議の上施工すること。
- 10.解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に実施すること。
またマニフェストを提出すると共に搬出数量一覧表も提出すること
- 11.契約工期の2週間前には工事を完了するとともに、所定の書類を提出し完了検査を受けること。

提出書類一覧						提出書類は A 4 にて製本の事
工事名	旧 上 川 水 泳 プ ール 解 体 工 事		請負業者			
	項 目	部数	提出期日	提出月日	備 考	
○	1 着手届（発注者書式）	2	契約時	月 日	設計監理者にも提出の事	
○	2 主任技術者・監理技術者・現場代理人届	2	契約時	月 日	設計監理者にも提出の事	
○	3 同上経歴書（書式は自由）	2	契約時	月 日	免許証等（写し）添付	
○	4 工事工程表	2	5 日以内	月 日	A 4 版程度	
○	5 詳細基本工程表	2	5 日以内	月 日	A 3 版程度	
○	6 見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	2	5 日以内	月 日	A 4 版ファイル	
○	7 施工体系図（施工体制台帳）	2	随 時	月 日		
○	8 下請業者名簿（注文書・請書添付）	2	各工事着手前	月 日	施工体制台帳等共	
○	9 主要資材購入先名簿（搬入土等）	2	資材搬入前	月 日		
○	10 期間別工事工程報告書	2	毎月 2 回	月 日	現況写真添付のこと	
○	11 工事進捗状況報告書	2	毎月 1 回	月 日	現況写真添付のこと	
	12 鉄筋及び鉄骨試験表	2	随 時	月 日	ミルシート等	
	13 コンクリート調査表	2	随 時	月 日		
	14 コンクリート圧縮試験表	2	随 時	月 日	4 週（公共機関試験）	
	15 施工図・製作図・承認図	2	随 時	月 日		
○	16 各種計画書	2	随 時	月 日		
○	17 工事写真	2	毎月 2 回	月 日	最終は C D データ	
○	18 火災保険証の写し	2	着工前	月 日	工期の20日延長	
○	19 質疑回答	2	必要に応じて	月 日		
○	20 工事材料搬入・検査報告書（搬入土等）	2	随 時	月 日		
	21 各種試験成績書	2	随 時	月 日		
	22 機能及び性能試験成績書	2	随 時	月 日		
○	23 材料出荷証明書	2	随 時	月 日		
	24 塗装関係の使用量の報告書	2	完了時	月 日		
	25 アスファルト調査表、試験表	2	随 時	月 日		
	26 工程指定の報告書（法 第12条3項）	2	随 時	月 日	写真添付のこと	
○	27 工事打合簿	2	随 時	月 日		
○	28 社内検査表	2	完了時	月 日		
	29 竣工図（文字入り製本・ A 3 版及び A 4 版）	2	完了時	月 日	原図を訂正のこと	
	30 各工事保証書	2	完了時	月 日		
	31 鍵番号表	2	完了時	月 日		
	32 電気絶縁抵抗試験表	2	完了時	月 日		
	33 テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	2	完了時	月 日		
	34 接地抵抗試験表	2	完了時	月 日		
	35 水圧試験報告書	2	完了時	月 日		
	36 ガス気密試験報告書	2	完了時	月 日		
	37 電気メーター指針表（既存施設使用の場合）	2	完了時	月 日		
	38 水道メーター指針表（既存施設使用の場合）	2	完了時	月 日		
	39 ガスメーター指針表	2	完了時	月 日		
○	40 完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	2	完了時	月 日	C D データ	
○	41 総合仮設計画書（安全計画書含む）	2	5 日以内	月 日	A 3 版程度の図面添付	
○	42 上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	2	随 時	月 日		
○	43 提出書類綴込み用空ファイル	2	5 日以内	月 日	5 c m 用程度	
○	44 退職金共済制度	2	随 時	月 日	協力業者含む	
○	45 再生資源利用計画書・産廃報告	2	随 時	月 日		
○	46 安全実施報告書（KY等）	2	随 時	月 日		
○	47 社会保険等	2	随 時	月 日		

発注者による事前調査箇所はA-6図の通りです。
定性分析(JISA1481-1(2016))の結果、いずれも含有無しとなっております。

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472 広島県知事登録（ 19(1)第3940号 ） F A X 0847-67-3808	図面名 工事概要・付近見取図・配置図		工事名 旧 上 川 水 泳 プ ール 解 体 工 事 設 計 図					
				縮尺	—	製作日	1 級建築士 永井秀昭				No. A - 1
							第111572号				

工事概要		11	安全確保	2	仮設工事	1	騒音・粉じん等の対策	2	騒音・粉じん等の対策	6	石綿含有建材の除去等	1	調査	調査	1	石綿含有建材の事前調査
1 工事名称	旧上川水泳プール解体工事															
2 工事場所	三次市甲奴町坂瀬4番地2	12	工事の記録	2	仮設工事	1	足場等	2	足場等	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿粉じん濃度測定	2	石綿粉じん濃度測定	2
3 構造・規模	プール 25m×3コース 更衣室棟及び便所棟（コンクリートブロック造） 休憩棟1・2（軽量鉄骨造）															
4 工事種目	(1)建物撤去一式（別図参照） (2)撤去跡整地工事	13	電気保安技術者等	2	仮設工事	1	監督職員事務所等	2	監督職員事務所等	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿粉じん濃度測定	2	石綿粉じん濃度測定	2
5 別途工事																
6 公衆災害防止措置	ア 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 イ 上記について、「建設工事公衆災害防止要綱（平成5年1月12日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。	14	近隣との折衝	2	仮設工事	1	工事用水	2	工事用電力	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿粉じん濃度測定	2	石綿粉じん濃度測定	2
7 現状復旧	工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。															
8 その他	(1)この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に譲け負わせようとする場合は、原則として三次市内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。 (2)解体仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において、それらが、関係法令等（条約含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。 (3)本工事の場合には工事中下記に示す調査を行うため、担当より連絡があれば対応すること。 ・ 公共事業労務費調査……工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等）	15	施工の検査	2	仮設工事	1	交通誘導員	2	交通誘導員	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿粉じん濃度測定	2	石綿粉じん濃度測定	2
解体工事仕様	1 共通仕様 (1)図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。 解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下、「改修標準仕様書」という。）による。 2. 特記仕様 (1)項目は○印のついたものを適用する。 (2)特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、○印のついたものを適用する。 ○印と○印のついた場合は共に適用する。 (3)特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。 (4)特記事項に記載の（ ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。 (5)特記事項に記載の< >内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。															
1 一般共通事項	項目 特記事項	16	中間技術検査	2	仮設工事	1	杭の解体	2	杭の解体	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿含有建材の除去	2	石綿含有建材の除去	2
1 ① 適用基準等	建設工事公衆災害防止対策要綱 建設副産物適正処理実施要領（広島県土木局制定） 建築工事安全施工技术指針 再生資源利用促進策実施要領（広島県土木局制定） 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部															
2 ② 設計図書の優先順位	(1)現場説明に対する質問回答書 (2)現場説明書 (3)特記仕様書 (4)図面 (5)共通仕様書	17	地下埋設物調査	2	仮設工事	1	さく、照明設備等の附属物	2	さく、照明設備等の附属物	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿含有建材の除去	2	石綿含有建材の除去	2
3 ③ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な手続等を遅滞なく行うこと。 また、これらの手続等を行うに当たっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告すること。 なお、手続き等に要する費用は受注者の負担とする。															
4 ④ 別契約の関連工事	工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と十分調整し、工事の円滑な施工に努めること。	18	埋設物等の報告	2	仮設工事	1	構内舗装、樹木等	2	構内舗装、樹木等	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿含有建材の除去	2	石綿含有建材の除去	2
5 ⑤ 表示板の設置	現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板及び建設業法その他法令等に定める表示板を掲げること。 工事概要等の表示板（900mm×600mm）															
6 ⑥ 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。また、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。	19	契約不適合調査	2	仮設工事	1	地下埋設物及び埋設配管	2	地下埋設物及び埋設配管	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿含有建材の除去	2	石綿含有建材の除去	2
7 ⑦ 発生材の処理等	〔1.3.10〕〔4.1.3-4.5.1〕 ・引渡しを要するもの（・PCBを含む機器類、PCB含有7-リツ材、） ○次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する (1)建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土 ○建設発生土 ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ○コンクリートブロック塊 (2)金属類 (3)小型二次電池 ○その他建設廃棄物の再資源化 無し ○有り（・蛍光ランプ、Hランプ ○硬質塩化ビニル管、継手） ○指定建設資材廃棄物（木材が廃棄物となったもの）の縮減 無し ・有り ○再資源化された建設廃棄物の現場での利用 無し ・有り（ ） ○産業廃棄物広域認定制度の適用 無し ・有り（ ） ○処理に注意を要する建設廃棄物 無し ・有り（・CCA処理木材 ・ひ素、鉛・ミル含有石膏・ド） (1)本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可された適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） (2)本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記(4)に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場へ搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。 なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。															
8 ⑧ 工事工程表	検査期間としての14日間を含んだ工程とし、工事全体を把握して作成し、監督職員の承諾を受けること。	20	電子納品	2	仮設工事	1	特別管理産業廃棄物の処理等	2	特別管理産業廃棄物の処理等	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿含有建材の除去	2	石綿含有建材の除去	2
9 ⑨ 施工計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技术指針を参考に、建設副産物適正処理実施要領に基づき事前調査のうえ、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し、あらかじめ監督職員に提出し承諾を得ること。 （仮設計画、安全・環境対策、工程計画、設計計画、発生材の処分計画）															
10 ⑩ 施工条件	(1)作業時間は、原則午前8時半から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。 なお、時間変更する必要がある場合は監督職員の承諾を受けること (2)日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 (3)その他図示による	25	工事中情報共有システム	2	仮設工事	1	特別管理産業廃棄物の処理等	2	特別管理産業廃棄物の処理等	2	石綿含有建材の除去等	2	石綿含有建材の除去	2	石綿含有建材の除去	2

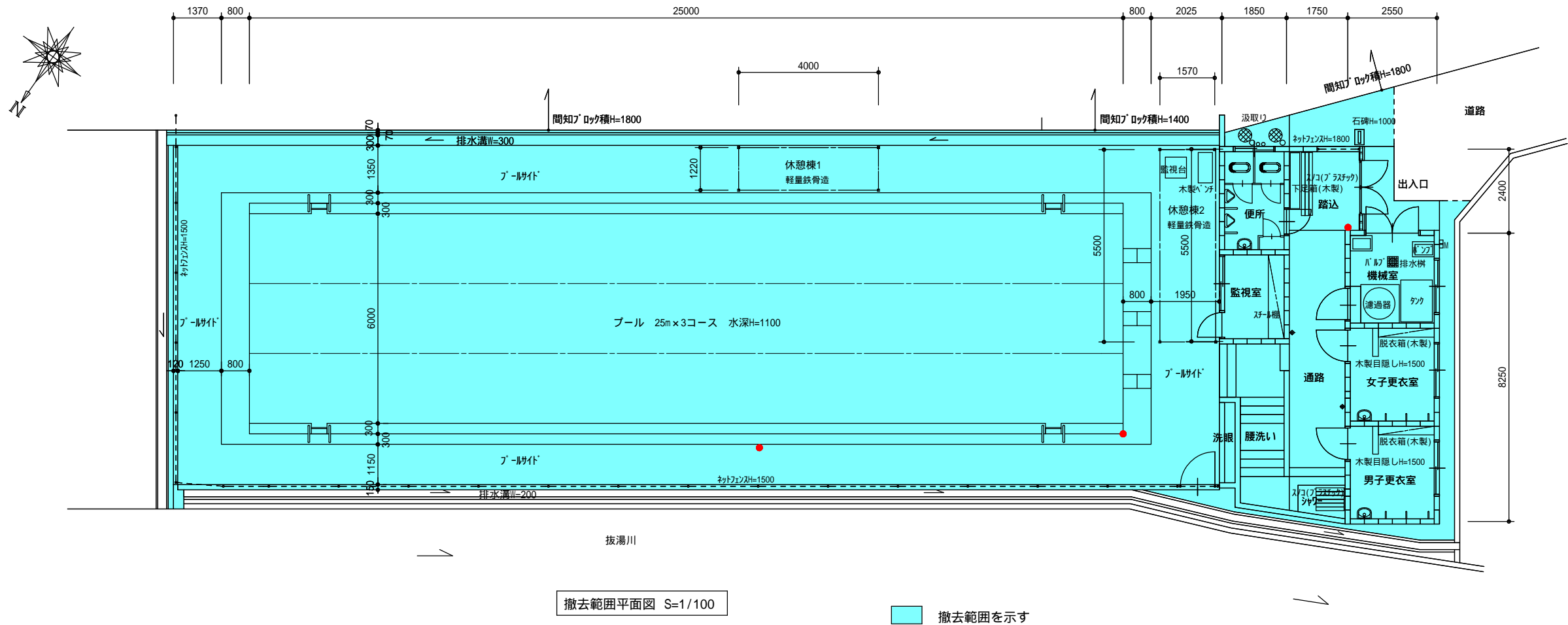
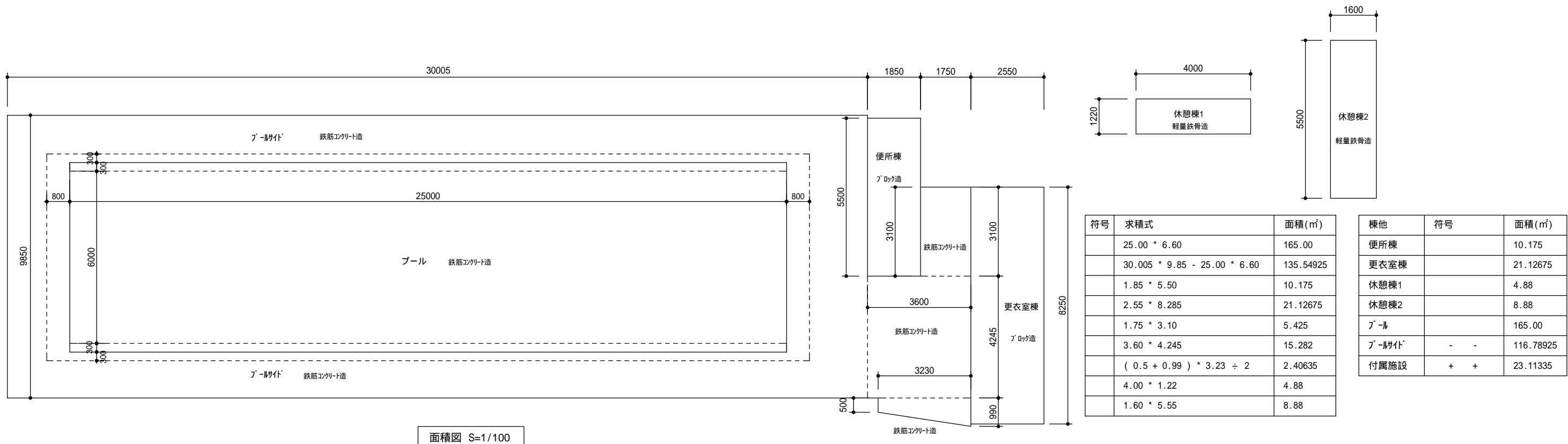


MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 (19(1)第3940号) F A X 0847-67-3808	図面名 現況写真 縮尺 製作日	工事名 旧上川水泳プール解体工事 設計図 1級建築士 永井秀昭 第111572号 No. A - 4
------	--	--	--	--------------------	--


内 部 仕 上 表										
階	室 名	床		巾木	壁		天 井			備 考
			下地			下地		下地	高さ	
1	男子更衣室	モルタル金ごて押え	C	モルタル	コンクリートブロック t=150 化粧積み	C B	合板型枠コンクリート打放し	C	2400	脱衣箱 洗面器 鏡 手摺 スノコ
		塩ビ製マット敷き			一部モルタル金ごて押え 目隠し用木間仕切り H=1500					照明器具（400W×1 V型） 配管類一式
	女子更衣室	モルタル金ごて押え	C	モルタル	コンクリートブロック t=150 化粧積み	C B	合板型枠コンクリート打放し	C	2400	脱衣箱 洗面器 鏡 手摺 スノコ
		塩ビ製マット敷き			一部モルタル金ごて押え 目隠し用木間仕切り H=1500					照明器具（400W×1 V型） 配管類一式
	機 械 室	コンクリート金ごて押え	C		コンクリートブロック t=150 化粧積み	C B	合板型枠コンクリート打放し	C	2600	ろ過機 受水タンク ポンプ類 バルブ ｾﾞﾈｰﾗｰ他
		機器類台 モルタル金ごて押え			一部モルタル金ごて押え					照明器具（400W×1 V型） 配管類一式
	監 視 室	モルタル金ごて押え	C	モルタル	コンクリートブロック t=150 化粧積み	C B	合板型枠コンクリート打放し	C	2200	スチール棚 木製机
										配管類一式
	便 所	モルタル金ごて押え	C	モルタル	コンクリートブロック t=150 化粧積み	C B	合板型枠コンクリート打放し	C	3000	大便器 小便器 手洗器 鏡 トイレブース
					一部モルタル金ごて押え					物入ブース スノコ 照明器具（400W×1 V型）
	休憩棟1	防水モルタル金ごて押えの上	C		開放		大波スレート現し			
		ノンスリップ塩ビシート t=2.0貼り			鉄柱 塗装仕上げ					
	休憩棟2	防水モルタル金ごて押えの上	C		開放		大波スレート現し			監視台（既製品）木製ベンチ 軒樋豎樋
		ノンスリップ塩ビシート t=2.0貼り			鉄柱 塗装仕上げ					
	プ ール	防水モルタル金ごて押えの上	C		立上り：防水モルタル金ごて押えの上					ステンレス製手摺
		ゴムシート防水 t=3.0			ゴムシート防水 t=3.0					配管類一式
	プールサイド	防水モルタル金ごて押えの上	C							取合部2重貼り （W=50） 飛び込み台
		ノンスリップ塩ビシート t=2.0貼り								配管類一式

外 部 仕 上 表										
更衣室棟	屋根	アスファルト露出防水	共用部	通路床	モルタル金ごて押えの上塩ビマット敷き	<div><div><div>真北</div><div></div></div><div>橋幅員 W=2600～2650 長さ 6,500 コンクリートスラブ 厚さ t=250+350=550 スラブ下から川底迄の高さ H=2750～2850</div><div><div>協力サポート 位置は打ち合わせによる</div><div><div>田</div><div>田</div><div>坂湯川</div><div>木小屋</div><div>道</div><div>橋</div><div>至総領町</div><div>至甲奴町</div><div>甲山甲奴上市線</div></div><div>通路補強鋼板敷 しま鋼板 914×1829×22 58枚</div><div>仮設計画図 S=NS</div></div></div>				
	笠木	アスファルト露出防水		洗眼	防水モルタル金ごて押え 配管類一式					
	軒裏	合板型枠コンクリート打放しの上吹付塗装		腰洗い	防水モルタル金ごて押え 配管類一式					
	外壁	コンクリートブロック t=150 化粧積みの上吹付塗装		シャワー	防水モルタル金ごて押え 配管類一式 スノコ					
	根廻り	モルタル金ごて押え		踏込	コンクリート金ごて押え スノコ 木製下足箱					
	窓	アルミ製サッシ 一部木製建具		出入口	鋼製建具, ネットフェンス, 石碑					
	豎樋	塩ビ製パイプ ルーフドレン取合部鋼製								
便所棟	屋根	アスファルト露出防水 ルーフドレン								
	笠木	アスファルト露出防水								
	軒裏	合板型枠コンクリート打放しの上吹付塗装								
	外壁	コンクリートブロック t=150 化粧積みの上吹付塗装								
	根廻り	モルタル金ごて押え								
	窓	アルミ製サッシ 一部木製建具								
	豎樋	塩ビ製パイプ ルーフドレン取合部鋼製								
	便所	汲取便槽, 臭突								

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 (19(1)第3940号) F A X 0847-67-3808	図面名 内部外部仕上表 仮設計画図		工事名 旧上川水泳プール解体工事 設計図				
				縮尺	—	製作日	1級建築士 永井秀昭			No. A - 5
							第111572号			



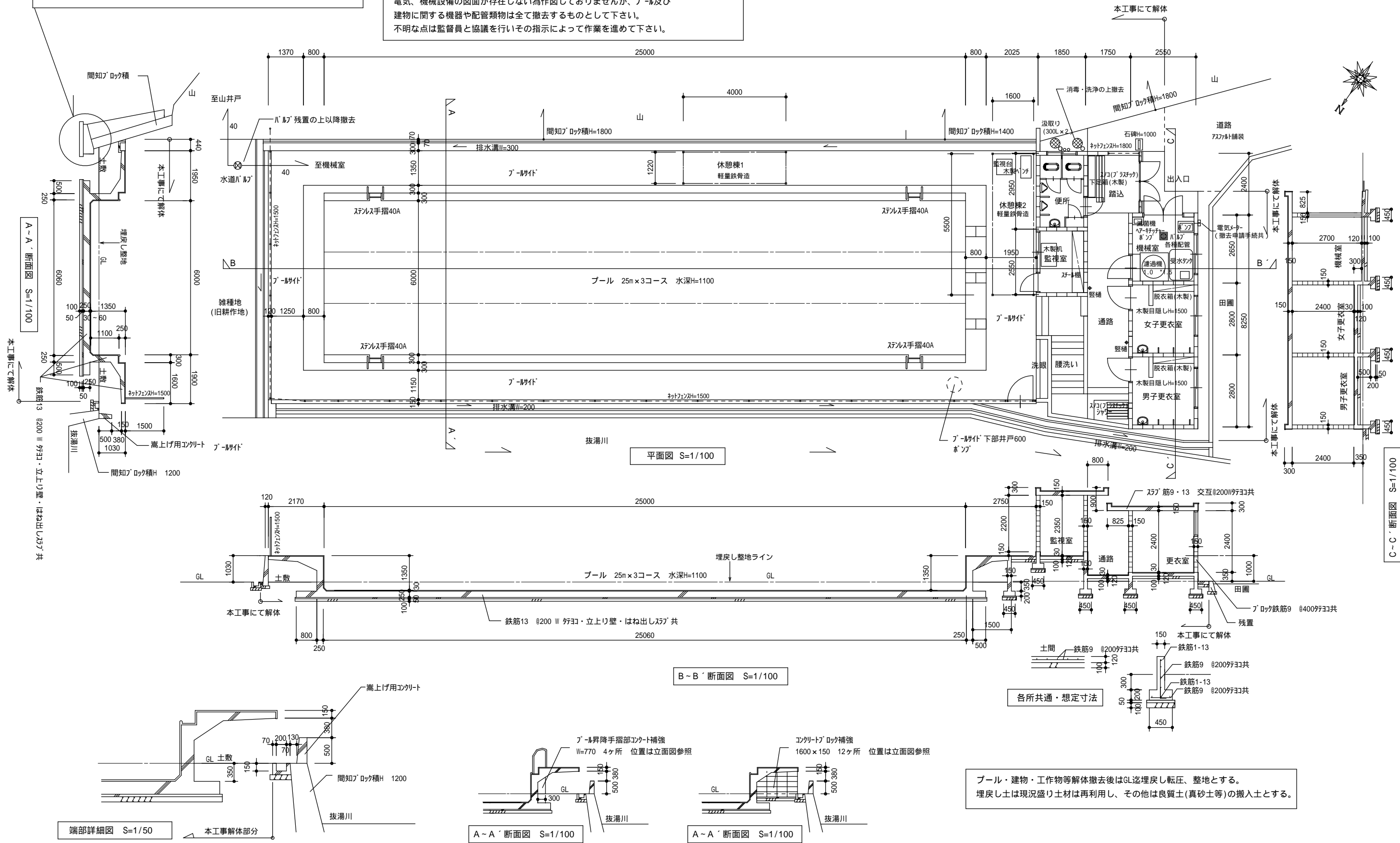
(縮小率 : A2=100%,A3=70%)

MEMO				有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 (19(1)第3940号) F A X 0847-67-3808	図面名 面積図・撤去範囲平面図		工事名 旧上川水泳プール解体工事 設計図							
					縮尺 S = 1/100	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				No. A - 6		

既設擁壁の図面が存在し無い為、安全の確認をする必要が有ります。
本工事に於いて3ヶ所の試掘を行い現況の寸法を記入した図面を作成して下さい。
試掘を行う場所は監督員との協議に於いて決めるものとします。
試掘の結果、補強等の必要が発生した場合は監督員の指示によって下さい。


プール・建物・工作物等解体撤去後はGL迄埋戻し転圧、整地して下さい。
埋戻し土は現況盛り土材は再利用し、その他は良質土(真砂土等)の搬入土として下さい。
解体撤去の範囲は、砕石は残置とし捨てコンクリートより上部とします。
電気、機械設備の図面が存在しない為作図しておりませんが、プール及び
建物に関する機器や配管類物は全て撤去するものとして下さい。
不明な点は監督員と協議を行いその指示によって作業を進めて下さい。

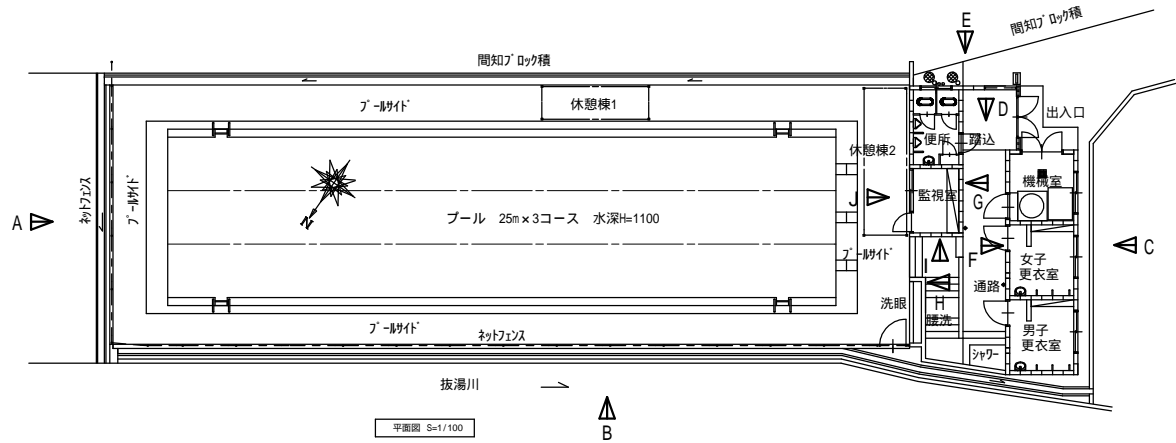
既設図面が存在し無い為、隠ぺい部分は想定にて作図しております。
工事に際しては注意して下さい。各図面共通です。



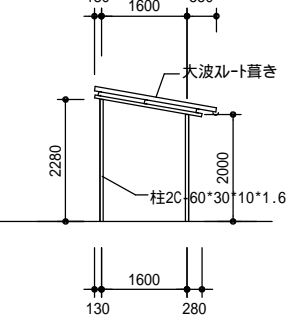
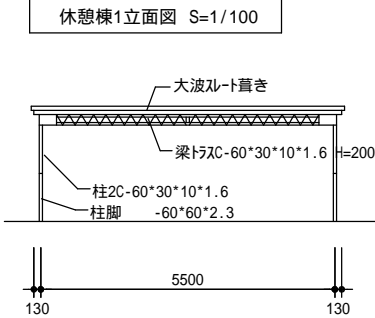
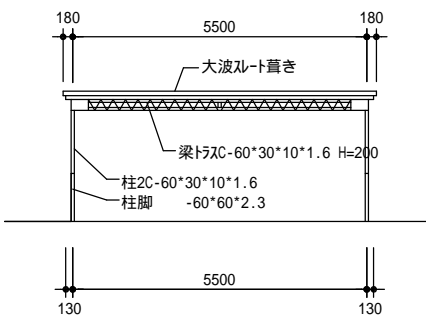
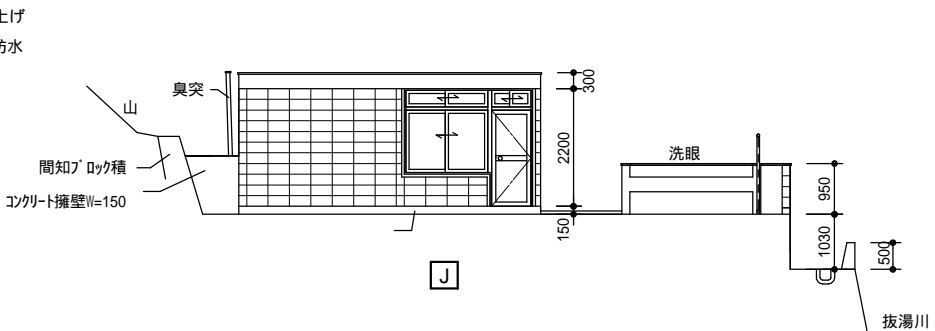
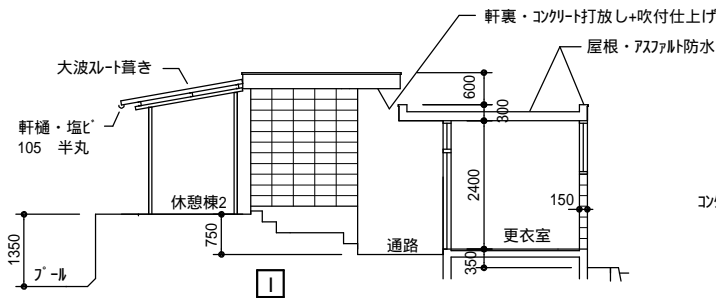
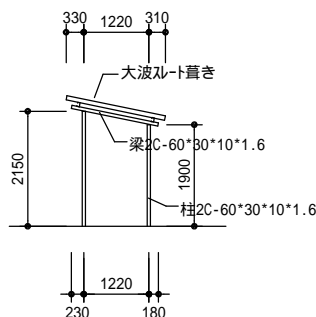
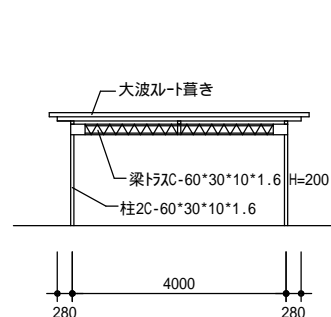
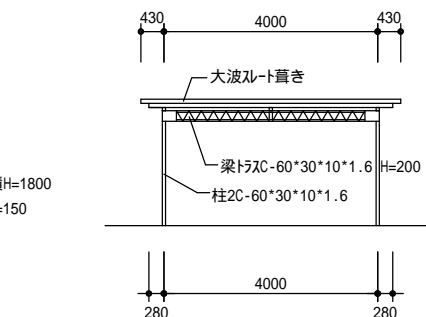
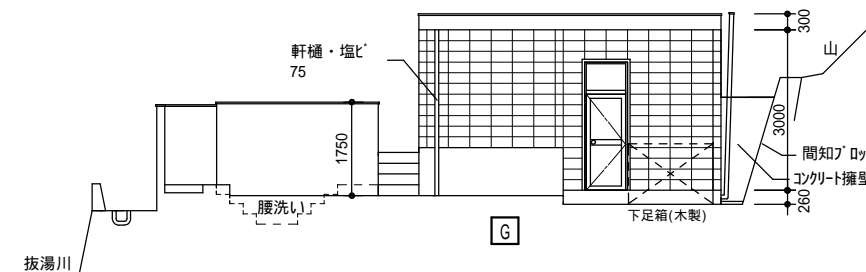
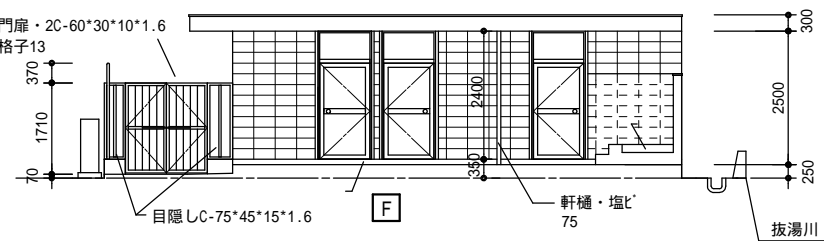
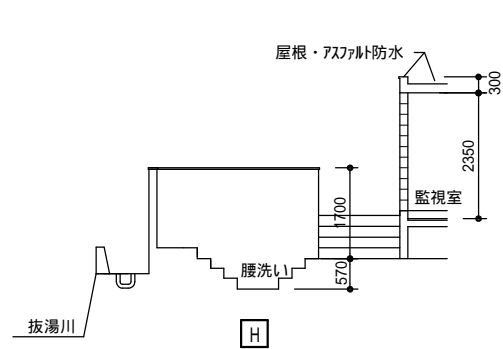
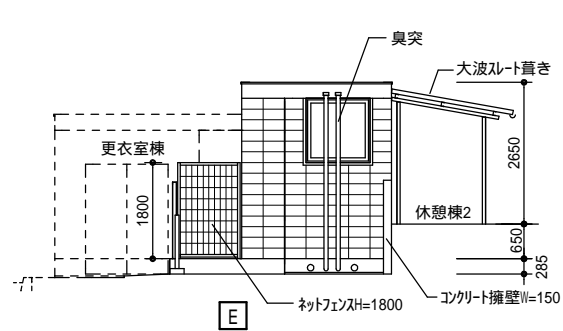
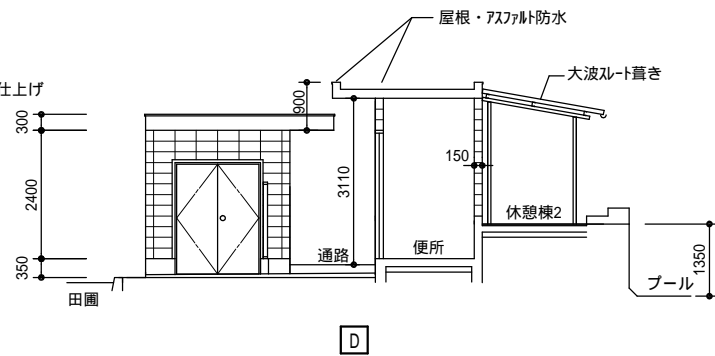
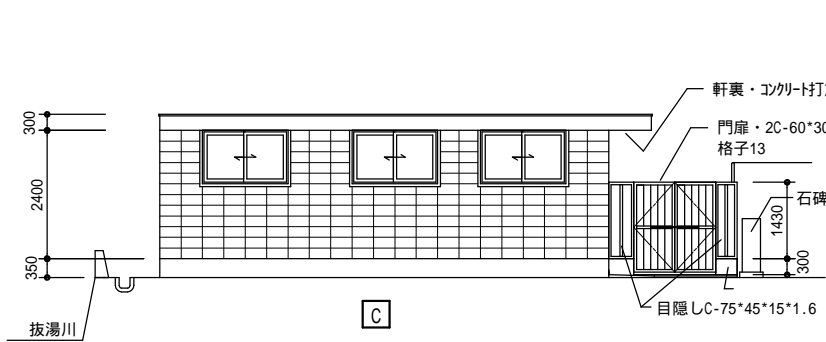
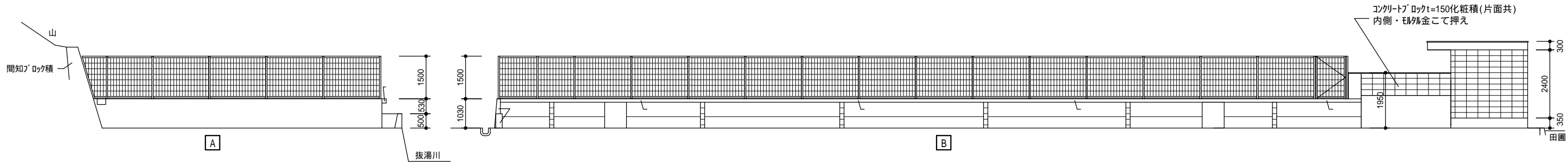
プール・建物・工作物等解体撤去後はGL迄埋戻し転圧、整地とする。
埋戻し土は現況盛り土材は再利用し、その他は良質土(真砂土等)の搬入土とする。

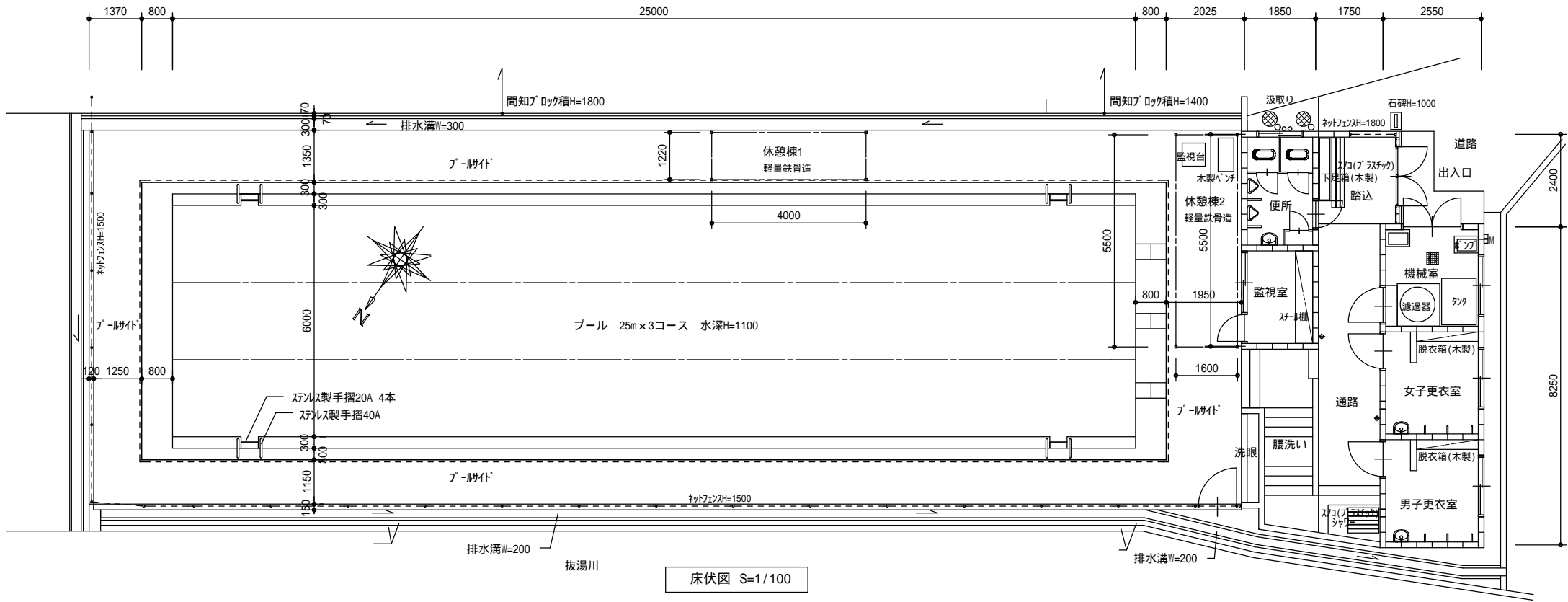
(縮小率： A2=100%,A3=70%)

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472 広島県知事登録(19(1)第3940号) FAX0847-67-3808	図面名 平面図・断面図		工事名 旧上川水泳プール解体工事 設計図					
				縮尺 S=1/100	製作日	1級建築士 永井秀昭				No. A - 7	
						第111572号					

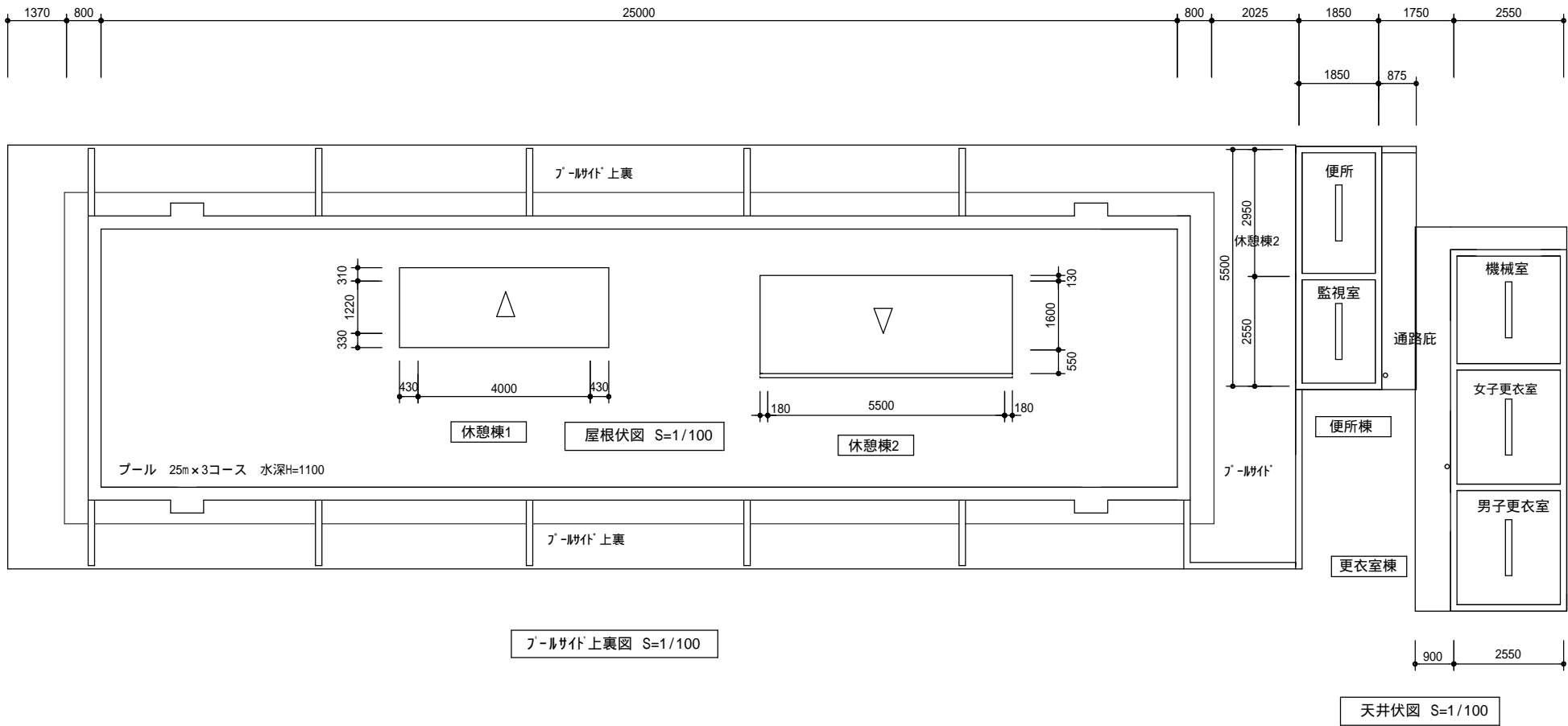
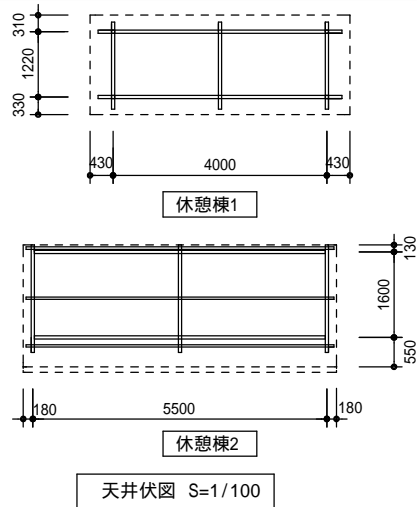


符号	仕上げ	備考
	コンクリート打放仕上げ	
	珪藻土金こて押え	
	珪藻土刷毛引きの上、吹付仕上げ	
	コンクリート打放仕=150化粧積(両面共)	
	コンクリート打放仕=150化粧積(両面共)の上、吹付仕上げ	
	ネットフェンスH=1500	
	アルミ製サッシ(既設木製建具の上に取付) ガラス共	
	木製建具 塗装仕上げ	
	鉄部 塗装仕上げ	
	擁壁・コンクリート打放し	
	護岸間知打放し	

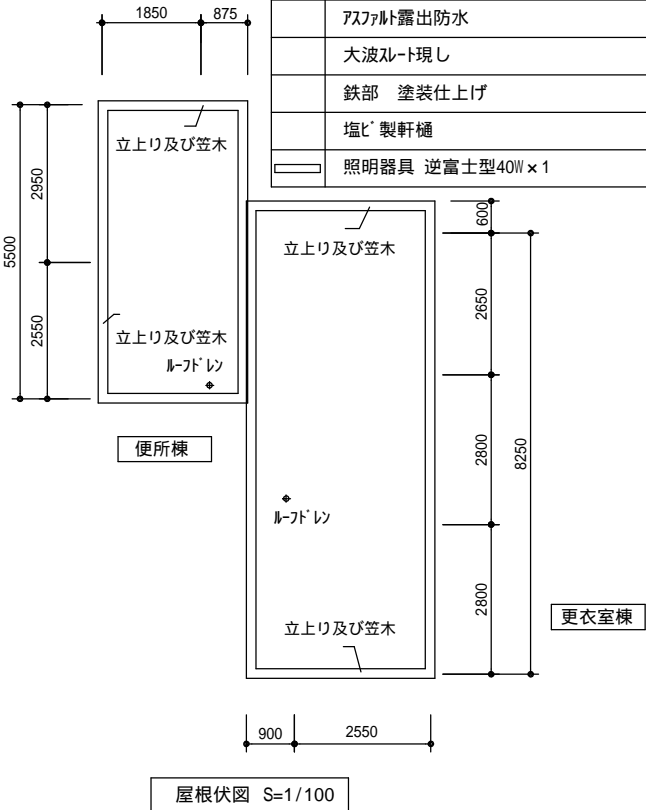




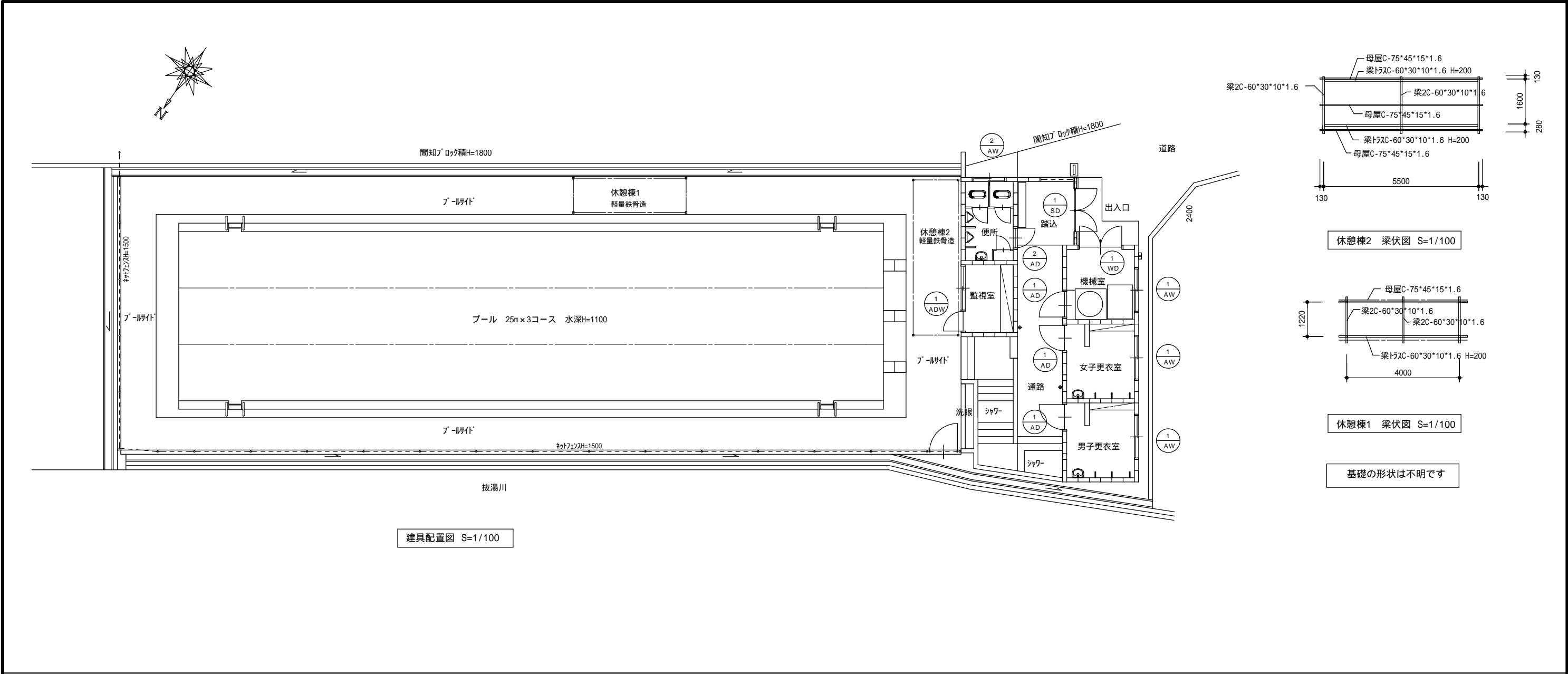
符号	仕上げ
	防水EIL外金こて押えの上、ゴムシート防水t=3.0仕上げ
	防水EIL外金こて押えの上、ノスリッパ塩ビシートt=2.0貼り
	取合い部・W=50 2重貼り コンパウンドにて接着
	防水EIL外金こて押え
	EIL外金こて押え
	塩ビマット敷き
	アスファルト舗装
	コンクリート金こて押え
	階段部・磁器段鼻タイル貼り(各所共通)



符号	仕上げ
	合板型枠コンクリート打放し
	合板型枠コンクリート打放しの上、吹付仕上げ
	アスファルト露出防水
	大波スレート現し
	鉄部 塗装仕上げ
	塩ビ製軒樋
	照明器具 逆富士型40W x 1



1級建築士 第111572号	永井秀昭			No. A - 10
-------------------	------	--	--	------------



建 具 リ ス ト 1

記号	数量	<div><div>1</div><div>AW</div></div>	3ヶ所	<div><div>2</div><div>AW</div></div>	1ヶ所	<div><div>1</div><div>AD</div></div>	3ヶ所	<div><div>2</div><div>AD</div></div>	1ヶ所	<div><div>1</div><div>AW</div></div>	1ヶ所	<div><div>1</div><div>SD</div></div>	1ヶ所	<div><div>1</div><div>WD</div></div>	1ヶ所
姿 図															
型 式		アルミ製引き違い窓 木建の上に取付		アルミ製引き違い窓 木建の上に取付		ラマFIX付片開きアルミ框ドア 木建の上に取付		ラマFIX付片開きアルミ框ドア 木建の上に取付		ラマ・袖引き違い窓付片開きアルミ框ドア		両開き鋼製格子ドア		両開き木製ファシッドア	
取 付 場 所		男子更衣室・女子更衣室・機械室		便所		男子更衣室・女子更衣室・機械室		便所		監視室		出入口		機械室	
枠見込 仕上		70 アルミサッシ		70 アルミサッシ		70 アルミサッシ		70 アルミサッシ		70 アルミサッシ		スチール -40°40°1.6 ベンチ塗り		36 合板ファシッドア 木枠	
硝 子		型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0 腰・アルミサッシ 補		型板ガラス t=4.0 腰・アルミサッシ 補		透明ガラス t=4.0 腰・アルミサッシ 補		縦格子13 ベンチ塗り			
建 具 金 物		ルベト 外左面台 木額縁		ルベト 外右面台 木額縁		リソグ-錠・丁番・木額縁 他		リソグ-錠・丁番・木額縁 他		リソグ-錠・丁番・ルベト・木額縁 他		南京錠・加錠・丁番他標準金物1式		リソグ-錠・丁番・フタス落し他標準金物1式	
備 考		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式					

MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472

広島県知事登録 (19(1)第3940号) F A X 0847-67-3808

図面名 建具リスト 休憩棟梁伏図

工事名 旧上川水泳プール解体工事 設計図

縮尺 S = 1/100

製作日

1級建築士
第111572号

永井秀昭

No. A - 11